

BULLETIN OF THE FACULTY OF
HUMAN DEVELOPMENT AND EDUCATION

No. 16 February, 2020

CONTENTS

Rika OCHIAI : Practice of Structured Environment of Preschool Class room and Supporting of Children with Special Needs	1
Aya MIZOKAMI, Mami OMOTE : A Literature Review of Dietary Education for Elementary School Students	11
Takeshi SAKAI, Hideyuki AKAI : Study on Curriculum Comparison between Japan and Singapore in Early Childhood Education	21
Sadao SHIMIZU, Kunihiko TAMAMURA : The “Coeducation or Integration (Kyoudo-Kyoiku)” in the Private School of Wako-Gakuen : To be seen from the film “Everybody can Sing the Song for the Sun (Minnade-utau Taiyo-no Uta)”	31
Shuji MITOBE : German language education policies in Berlin and Promotion of the class practice at basic school level	41
Junji MIYANO : The Conception and Development of Education for Sustainable Development in German Primary Science Education	49
Naoko MURAI : The Pathic Features of Pedagogy	59
Naoko OKAWA, Ikuharu MORIOKA : Stress States of School Children in Small-Size Schools on Remote Islands	69
Keiko ARAKAWA, Akinori SAITO, Kimiko OHTA, Nao YAMASAKI : Concerning an Outreach by Digital 3D globe “Dagik Earth” and Music in an Elementary School	79
Masakazu OTANI : A Study on Technique of Mediant Modulation and its Performance Effects —The Case of Piano Works of L.v. Beethoven and Other Romantic Composers—	89
Nami GAHABKA : Möglichkeiten der Nutzung von Unterrichtsmaterialien für die Ausdrucksbildung in der Kindergärtnerinnen ausbildung —Aus der Praxis, Bilderbücher für 「Übungen zur Kinderbetreuung」 zu verwenden—	97
Yoshiko URYU : Challenges to Reform of the Child Care Leave System in Japan without Prolonged Career Interruption of Parents	107
Masayuki KAMBARA, Kazuki MASAKI : A Study on the Eurhythmics Practice in China	117
Tamana SESEKURA : Psychological meaning of Reading Picture books between Parents	125
Makoto YANO, Hirotsugu TAZUME : Development of Teaching Materials Using <i>Mokuiku</i> through Local Cooperation : A Study of Student Learning from <i>Mokuiku</i> Workshops	133

京都女子大学

発達教育学部紀要

第 16 号

令和 2 年 2 月

発
達
教
育
学
部
紀
要

第
十
六
号

令
和
二
年
二
月

京
都
女
子
大
学
発
達
教
育
学
部

落合利佳：広さを考慮した保育環境の構造化と個別配慮の実践 —京都市営保育所での取り組み—	1
溝上彩・表真美：小学生を対象とした食育に関する文献レビュー	11
坂井武司・赤井秀行：幼児教育における日本とシンガポールのカリキュラム 比較に関する研究	21
清水貞夫・玉村公二彦：和光学園における「共同教育」の提唱と盲児の統合教育 —映画『みんなであう太陽のうた』（1978年）—	31
水戸部修治：ベルリン市における基礎学校段階のドイツ語教育施策と その実践の推進	41
宮野純次：ドイツ初等理科における持続可能な開発のための教育（ESD） の構想と展開	49
村井尚子：教育の営みにおけるパトスの質	59
大川尚子・森岡郁晴：Stress States of School Children in Small-Size Schools on Remote Islands	69
荒川恵子・齊藤昭則・太田公子・山崎菜央： 小学校におけるデジタル立体地球儀ダジック・アースと音楽に よるアウトリーチについて	79
大谷正和：3度転調の手法とその演奏表現効果についての考察 —ベートーヴェンとロマン派の作曲家のピアノ作品を中心に—	89
ガハブカ 奈美：保育者養成課程における表現教育教材の可能性 —『保育内容演習』の絵本を用いた実践から—	97
瓜生淑子：育児休業制度の実情と課題（2） —取得可能期間の延長だけが最善の策か—	107
神原雅之・正木一輝：中国におけるリトミック実践に関する一考察	117
瀬々倉玉奈：養育者間で絵本を読むことの心理学的意義	125
矢野真・田爪宏二：地域連携を通じた木育教材の開発 —木育ワークショップに参加した学生の学びから—	133
令和元年度公開講座	141
修士論文・卒業論文題目	144

令和元年度 公開講座・シンポジウム

生涯学習講座

★教育学専攻主催 夏休み自由研究のヒントを Get!

8月6日(火)

9:40~10:40 ①東山の自然探検隊になろう! 本学教授 宮野 純次氏

11:00~12:00 ②糸を使ってアクセサリやマスコットを作ろう!
本学教授 表 真美氏

13:00~14:00 ③プログラミングに挑戦しよう! 本学教授 坂井 武司氏

★すてきに長寿~脳と心の健康を保つ秘訣~ 本学教授 岩原 昭彦氏

11月26日(火) 10:30~12:00 ①元気な高齢者になる

12月10日(火) 10:30~12:00 ②認知症を予防する

12月24日(火) 10:30~12:00 ③幸せな老後を送る

★音楽科教育学専攻主催 作曲家探求シリーズ ② J.S. バッハ

6月4日(火) 18:15~19:45

①バッハの音楽作品の作曲背景に迫る 本学教授 ガハブカ奈美氏

6月18日(火) 18:15~19:45

②19世紀のバッハ復興運動 —メンデルスゾーンによる《マタイ受難曲》復活上演への道—
本学教授 関口 博子氏

7月2日(火) 18:15~19:45

③バッハの鍵盤作品の魅力を探る 本学教授 大谷 正和氏

★フランス音楽の魅力: ファンタジー(幻想)の世界から 本学准教授 田崎 直美氏

11月12日(火) 18:00~19:30 ①ベルリオーズと《幻想交響曲》

11月19日(火) 18:00~19:30 ②ラヴェルと《子どもと魔法》

11月26日(火) 18:00~19:30 ③プーランクと《ティレジアスの乳房》

★児童学科主催 ロコモ・サルコペニア予防~健康長寿を目指して~

10月19日(土)

13:00~14:00 ①ロコモ・サルコペニアとは 本学教授 間瀬 知紀氏

14:00~15:00 ②体組成と運動器のチェック 本学教授 森 博文氏

15:00~16:00 ③暮らしの中に運動を取り入れよう(実技)
本学教授 新矢 博美氏

★草創期の本願寺 ~その歴史と親鸞聖人からの継承

本学准教授 本学宗教・文化研究所兼担研究員 黒田 義道氏

10月25日(金) 14:45~16:15 ①親鸞聖人と本願寺

11月8日(金) 14:45~16:15 ②本願寺第三代覚如上人の活躍

11月15日(金) 14:45~16:15 ③親鸞聖人から覚如上人への継承

新発達教育学部 開設記念連続講座 1 新教育学科発足記念シンポジウム

教育ってなんだ？ みんながしあわせになる学校づくり

日時：6月8日（土）13：00～16：30

コーディネーター：本学教授 表 真美氏

基調講演：教育ってなんだ？ みんながしあわせになる学校づくり

講師 哲学者・教育学者・熊本大学准教授 苫野 一徳氏

パネルディスカッション

みんながしあわせになる学校づくりと特別支援教諭の役割 本学教授 玉村公二彦氏

みんながしあわせになる学校づくりと養護教諭の役割 本学教授 大川 尚子氏

オープニングコンサート

大学として地域と共生していくにあたって音楽ができること

コンサートコーディネーター：本学卒業生 武庫川女子大学非常勤講師

NPO 法人「音の風」主宰 西野 桂子氏

演奏：本学非常勤講師 島田亜紀子氏（フルート）、

本学非常勤講師 日下部任良氏（サクソ）、

本学非常勤講師 坂本 光太氏（チューバ／ユーフォニアム）、

本学非常勤講師 的場 誠治氏（トロンボーン）

新発達教育学部 開設記念連続講座 2 心理学科発足記念シンポジウム

「公認心理師」養成と心理学教育

日時：8月3日（土）13：15～17：00

基調講演：東京大学教授 丹野 義彦氏

講演及び討論：東京大学教授 丹野 義彦氏，本学教授 箱田 裕司氏，

本学教授 岩原 昭彦氏，本学准教授 片岡 基明氏

新発達教育学部 開設記念連続講座 3 新児童学科発足記念シンポジウム

子どもとともに—京女の児童学—

日時：2019年8月4日（日）13：00～15：00

第1部「児童学ってなに？」

子どもを学ぶ 京女の児童学 4つの学問領域 児童学科教授 松崎 行代氏

子どもとわたし 京女の建学の精神と児童学科 児童学科准教授 黒田 義道氏

子どもとともに 絵本『そらまめくんのベッド』の読み聞かせ（音楽付き）

児童学科音楽隊〈てんてんマーチ〉

第2部 基調講演

演題：20年絵本を描き続けて、今思うこと…

講師：絵本作家 なかやみわ氏

児童学科 公開講座

日時：7月6日（土）13：00～16：30

講題：木育によるワークショップ～木の香りと手触りを感じながら作品をつくろう！～

講師：岐阜県立森林文化アカデミー教授 松井 勅尚氏

講師：本学教授 矢野 真氏

音楽教育学専攻 公開講座

11月30日（土）13：00～15：45

日本の「作曲」回顧と展望 ―創作から見る近代化・洋楽受容151年の歩み

第一部 講演：展望：151年目の日本の「作曲」

―「大きな物語」と「小さな物語」を結ぶ音楽創造へ

講師：本学准教授 佐藤 岳晶氏

第二部 レクチャーコンサート

回顧：邦人作品で振り返る洋楽受容の151年―文部省唱歌から知られざる前衛作品まで

演奏

本学教授 田中 純氏

本学教授 大谷 正和氏

本学教授 土居 知子氏

本学教授 ガハプカ奈美氏

本学発達教育学部教育学科 音楽教育学専攻学生

令和元年度

大学院発達教育学研究科 修士論文題目

〈教育学専攻〉

- 井 口 詩 織 創造的思考を育むプログラミング教育の可能性
—「総合的な学習の時間」の実践的検証を通して—
- 松 室 朝 香 知的障がいのある青少年の居場所のあり方に関する実証的研究
—インクルーシブな社会の構築を目指して—

〈心理学専攻〉

- 小野田 梨 花 看護師における職業的アイデンティティとワーク・エンゲイジメントとの関連性
- 親 木 日 菜 子 保育者の行動理論に関する知識と保育実践力及び保育者ストレスとの関連
- 堀 井 まりこ 接近・回避動機づけと新ストループ検査との関連

〈表現文化専攻〉

- 田 口 佳 奈 ヴィンチェンツォ・ペッリーニ オペラ《清教徒》より〈あなたの優しい声が〉の歌唱表現についての一考察 —マリア・カラスの歌唱から導く—
- 野 村 汐 里 《映像》第1集, 第2集の分析
—ドビュッシーの音楽語法と絵画の表現技法の比較を通して—

〈児童学専攻〉

- 大 江 文 子 5歳児クラス担任と幼児における信頼関係の検討：学年末発表会の舞台裏の観察
- 坂 優 理 子 小児病棟における病棟保育士と看護師との連携

注) このリストは令和2年1月20日に提出された修士論文題目に基づいて作成しています。

令和元年度

発達教育学部教育学科 卒業論文・制作題目

教育学専攻

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
天 野 夏 希	グローバルマインドを育成する異文化理解学習の開発 ―第6学年単元「クジラでつながる日本とアメリカ」を事例にして―	(松岡)
家 城 明香莉	乳幼児期における人間関係の発達を見通した関わりのある方	(村井)
石 井 真裕子	障害のある子ども達の発達支援のあり方について	(村井)
石 田 朱 音	メディアリテラシーを育成する小学校社会科の授業開発 ―第5学年単元「くらしを支える情報～メディアから見た竹島問題～」を事例にして―	(松岡)
磯 部 愛 珠	「共同体感覚」を育む学級経営のあり方 ―係活動に焦点づけて―	(松岡)
市 木 日 菜	子ども食堂の取り組みに関する調査研究 ―滋賀県栗東市内の子ども食堂を事例として―	(岩槻)
犬 塚 さくら	開脚跳びの段階的指導についての考案	(大橋)
井 上 紗也乃	学習水準理論に基づく図形指導に関する研究	(坂井)
伊 部 蓉 子	ユニバーサルデザインの授業づくり ―福井県の特別支援教育に焦点をあてて	(玉村)
今 井 礼 美	地域の観光産業に焦点づけた社会科の授業開発 ―第4学年単元「滋賀県の観光産業」を事例にして―	(松岡)
今 田 奏 子	子ども時代の習い事は青年期以降にどのような影響を与えるのか ―大学生を対象とした回想調査より―	(岩槻)
今 西 佑 奈	ダイバーシティを受容する理解教育について	(玉村)
今 福 翔 子	女子大学の存在意義	(表)
今 村 優 衣	ディズニー映画における多様性 ―インクルージョン・共生社会の在り方について	(玉村)
岩 崎 亜 美	コミュニティスクールの成果とこれからの在り方	(谷川)
岩 崎 叶	修学旅行における「望ましい体験」と障害のある子どもの参加	(玉村)
岩 本 紗 奈	学童保育における指導員の役割と課題に関する考察 ―京都市桂児童館の事例に焦点を当てて―	(岩槻)
上 辻 理 紗	自尊感情をどのように育むか	(谷川)
上 野 はるか	インクルーシブ教育の支援から考える主体的・対話的で深い学び	(玉村)
梅 田 潤 子	主体的に話し合う児童を育む学級活動 ―ブレインストーミングと振り返りを取り入れた話し合い活動を通して―	(富村)
梅 林 咲	江戸時代の寺子屋教育から考える現代教育のあり方	(村井)
遠 藤 真 理	愛着障害における支援について	(宮崎)
大 畑 朱 莉	幼児期における英語教育の効果について ―キンダーキッズインターナショナルスクール卒園生へのインタビューを通して―	(宮崎)
大 平 夏 甫	家庭科におけるコミュニケーション能力の育成	(表)
大 元 菜央美	ユニバーサルデザイン教育の在り方	(谷川)
大 矢 佳 奈	より機能的に働くスクールソーシャルワーカーとは	(谷川)

卒業論文題目

岡 陽 菜	自己肯定感を高める授業実践	(表)
岡 崎 愛 里	学校での障害者きょうだい支援	(宮崎)
岡 本 優 衣	小学校英語教育における気づきの促進	(谷川)
落 合 琴 音	自閉症スペクトラムをもつ女子の自立と支援 ー当事者研究をもとに	(玉村)
柏 木 香 穂	主体的に読書をしようとする児童の育成 ー単元の軸に読書活動を位置付けた授業づくりー	(水戸部)
加 藤 真 由	小学校英語教育における効果的な文字指導 ～既存手法の分析を通して～	(大橋)
川 崎 愛生里	言語活動に重点を置いた鑑賞指導の在り方	(難波)
河 村 里 奈	子ども食堂を踏まえた心の居場所の在り方について	(宮崎)
官 能 舞 依	父親の育児参加の現状	(表)
岸 本 朱 莉	アサーティブな自己表現ができる児童を育む学級活動 ーアングーマネジメントとアサーショントレーニングを通してー	(富村)
桐 山 香 織	思いやり行動ができる子どもを育てる学級活動 ー日常生活につながるピアサポートを取り入れた奉仕の行事を通してー	(富村)
金 原 百 花	日本における個性を尊重する教育 ～オランダのイェナプラン教育と比較して～	(福永)
久 保 なおみ	豊かな人間関係を築く学級活動年間カリキュラムの開発 ーサイコエジュケーションの概念を活用してー	(松岡)
小 谷 桃 子	世代を繋ぐ母娘関係との向き合い方 ー母親世代へのインタビュー考察を通してー	(宮崎)
近 藤 彩	学童保育指導員に求められる資質・能力	(表)
笹 井 朱 夏	自己肯定感を高める自然体験授業 ～琵琶湖をフィールドにして～	(宮野)
澤 村 愛 美	子ども食堂がつくる共食の場	(表)
島 田 紗 江	子どもの主体性を育む教育に関する考察 ー乳幼児期から幼児期に焦点を当ててー	(岩槻)
白 木 優 里	女性の再就職を支援するリカレント教育に関する考察	(岩槻)
白 崎 詩 織	英語の歌を活用した外国語活動の可能性	(難波)
神 道 晴 子	算数教育におけるスクラッチを用いたプログラミングに関する研究	(坂井)
杉 谷 真 文	「気になる子」や発達障がい児を「排除」しないインクルーシブ保育	(宮崎)
杉 山 由 樹	道徳科における伝統工芸文化教材の検討 (仮題)	(福永)
高 田 莉 奈	学校におけるいじめに関する考察 ー小・中学生に焦点を当ててー	(岩槻)
高 橋 さくら	統合・発展を重視した算数授業に関する研究	(坂井)
高 宮 菜 緒	乳幼児期の発達段階を踏まえた「表現」活動の可能性 ーリトミックを導入してー	(難波)
瀧 川 和佳那	言語活動の質を高めるための授業づくりの在り方	(水戸部)
多 田 ちひろ	栽培活動を取り入れた食育の推進	(宮野)
田 中 茉 弥	演劇的手法を活かした授業づくりの可能性	(村井)
種 村 七 海	読みを深める音読指導に関する研究	(水戸部)
土 山 菜々子	日本の労働市場における男女平等	(福永)
堤 本 莉 安	幼児期における自己肯定感を育む環境について	(村井)
坪 井 茜	多面的、多角的に歴史を解釈する社会科の授業開発 ー仮説吟味学習による単元「3人の武将と天下統一」の場合ー	(松岡)
寺 岡 菜南子	・卒業制作 子どもの触覚を育む玩具のシリーズ「①わくわく動物園マット」 「②にぎにぎお手玉」「③フワ?ポコ?キューブ」 ・報告文 子どもの触覚を育む玩具の研究	(山野)
天 満 晟 花	自尊感情を育む学級づくり ー心の居場所をつくる構成的グループエンカウターの活用ー	(宮崎)
出 口 沙 采	手遊び歌を活用した保育実践について	(難波)

東陽香澄	現代に生きる子どもの心を育てる動物介在教育 ～クラスを中心とした飼育活動～	(宮野)
鳥居咲江	・卒業制作 布絵本「いただきます」、プレイマット「もぐもぐへんしん」 ・報告文 幼児期の食と命に関する教具の制作	(山野)
中越葵	災害に対する当事者意識を高める社会科の授業開発 ―第4学年単元「地震からくらしを守る」を通して―	(松岡)
中島由貴	日本の教育制度	(福永)
長崎ひな	主体的に学習に取り組む態度を養う学級活動 ―学校と家庭での学びをつなぐ自主学習の充実を通して―	(富村)
南雲真琴	演劇的手法を用いた文学的文章の学習指導開発の可能性	(水戸部)
西智美	主体的な学びにつながる「話すこと・聞くこと」の指導方法について	(水戸部)
西栗里	運動の認知とパフォーマンスについての実践的研究 ―小学生のマット運動を事例として―	(大橋)
西田優里香	教育分野におけるソーシャル・キャピタルに関する研究 ―学力との関係に焦点を当てて―	(岩槻)
濱田有伽	構成の在り方に着目した物語創作単元の指導に関する研究	(水戸部)
原田萌恵子	算数教育における学習困難児への対応の実態に関する研究	(坂井)
東山幸生	言語を使った豊かな自己表現力を育む学級活動 ―クラス会議の手法を取り入れた話し合い活動を通して―	(富村)
平内沙奈	身近な自然を生かした環境教育 ～学校ビオトープに着目して～	(宮野)
藤井美香	社会で求められる自己理解と自己表現の在り方	(宮崎)
藤田ほのか	主体的な態度を育むスタートカリキュラム ―家庭と連携し期待感を高める第2週のプランの充実―	(富村)
堀田千尋	アドラー心理学による教師から子どもへの勇気づけ	(村井)
堀口美奈	遊びの中の「算数の基礎」の読み取りに関する研究	(坂井)
前嶋佑美	自己肯定感の高い児童を育む学級活動 ―「キャッチフレーズカード」を活用し見方を変えるリフレーミングを通して―	(富村)
松井響	日韓の初等教育における英語教育の在り方とその比較 ～이화여자대학교 (梨花女子大学) 留学経験を振り返って～	(福永)
松田彩夏	給食の食べ残しを減らすために学級担任ができること	(表)
三浦緋奈子	小学生とその保護者のジェンダーバイアス ～これからの人生プランからみるジェンダー～	(大橋)
三上明日香	読解力向上に向けた要約学習	(水戸部)
宮本絵美	乳幼児期における読み聞かせに関する考察	(福永)
村田明音	青少年教育施設でのボランティアの役割と成長に関する研究 ―京都市青少年活動センターを事例として―	(岩槻)
馬久地沙都	“Grate Spine is Great Life” ～ヨーガの効果と小学校への導入をめざして～	(村井)
森美津保	チーム学校からチーム地域へ	(谷川)
森田菜月	我が国における学級集団と学級経営	(村井)
守友春菜	学校掃除の現状と課題	(表)
山口未来	深い自己肯定感を育む学級活動 ―構成的グループエンカウンターを通して―	(富村)
山崎奈々	自己愛と承認欲求の関係性	(村井)
山田たま	リスニング能力を育成する低学年英語科授業の改善方略 ―英語科先進校と民間の英語機関の比較を通して―	(松岡)
山田真由香	どの子ども伸ばす国語の授業づくり	(水戸部)

卒業論文題目

山 森 未 来	オルタナティブ教育から見る学校の在り方	(福永)
吉 川 結 香	・卒業制作 「夜空を見上げよう」 ・報告文 小学校理科教育の実感を伴った理解のための教材の工夫 一図画工作科との関連を図る指導計画の試案から一	(山野)
吉 村 優 花	インクルーシブ教育におけるネイチャーゲームを取り入れた授業づくり	(宮野)
脇 本 莉 帆	日本の教育機関における性教育の必要性 ～リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点から～	(福永)
中 村 佐 紀	里親支援の在り方	(表)
中 山 美 里	多文化理解に向けた音楽科教育の可能性について 一教科書の分析を中心に一	(難波)
松 井 千 笑	虫嫌いの子どもの減らす授業づくり	(宮野)
渡 邊 華 奈	貧困家庭子どもへの学習支援	(谷川)

心 理 学 専 攻

学 生 氏 名	卒 業 論 文 ・ 卒 業 制 作 題 目	所 属 セ ミ
青 木 琳	女子大学生の陽性感情表出抑制と自尊感情、大学適応感の関連についての検討	(下津)
石 橋 真 耶	家族の養育スタイルと女子大学生の自己受容・他者受容バランスとの関連	(松浦)
和 泉 も え	否定的内容に自己開示の抵抗感と効果予想の関連 一対面場面とインターネットを介したコミュニケーション場面との比較から一	(稲塚)
伊 藤 はづき	母娘関係における精神的自立が娘の友達とのつきあい方に与える影響	(松浦)
稲 垣 佑 香	他者の表情が自律神経活動および感情に及ぼす影響	(岩原)
内 田 舞 弥	共感性及び道徳性と攻撃性との関連性	(岩原)
馬 野 真 歩	幼児の共感性と無表情に対する感情認知との関連について	(松浦)
太 田 蘭 世	自己愛と攻撃性及び怒り表出との関連についての検討 一「誇大性」と「過敏性」に注目して一	(下津)
大 西 千 裕	選択回避傾向および発達の変化がアイデンティティの達成度に及ぼす影響	(下津)
緒 方 葉 月	「ほめ」経験が主観的幸福感や社会的スキルに与える影響	(吉村)
小 川 菜 那	小学校教員のパーンアウト傾向にストレスとレジリエンス、余暇活動が与える影響	(松浦)
香 川 すみれ	笑いによって誘発されるポジティブ感情が思考拡張に及ぼす効果	(岩原)
川 瀬 美 笙	過去の恋愛経験が現在の恋愛イメージおよび異性間コミュニケーションスキルに与える影響	(吉村)
河 村 彩 花	友人関係における“キャラ”とアイデンティティ及び適応感の関連 一主体的キャラと受動的キャラに注目して一	(稲塚)
木 地 桃 香	嗅覚における言語隠蔽効果と言語化の内容	(箱田)
木 村 まなみ	マインドフルネスおよび認知的制御と well-being との関連	(岩原)
小 西 桃 果	大学生のタイプA行動パターンと生活習慣および精神的健康との関連性	(岩原)
小 林 加 奈	青年期女子におけるグループでの交友関係が友人関係の認知と生活充実感に及ぼす影響	(片岡)
小 林 千 乃	女子大学生の思いやりが発達障害児・者に対する交流態度に及ぼす影響	(片岡)
坂 本 奈 緒	凶器注目効果と文脈の関係性	(箱田)
佐 藤 有 彩	コーピングの柔軟性と自尊感情の変動性がストレス反応に与える影響	(下津)
珠 玖 実 里	BGMのテンポの違いが作業に及ぼす影響	(松浦)
清 水 叶	ポジティブ心理学特性と購買に関する自伝的記憶の関連性	(岩原)

高木理央	「かわいい」感情と共感性の関連の検討	(片岡)
田口佳保里	乳幼児への接触経験・被養護体験が現在の養護性・自尊感情に及ぼす影響	(片岡)
築地花音	LINE 使用、孤独感と LINE の効用認知の関連	(稲塚)
寺林美緒里	不快な気持ちを感じた場面における聞き手の反応とその要因についての実験的検討 —拒否感受性被着目して—	(下津)
徳田早紀	「羨望すること」「羨望されること」が自己受容に及ぼす影響	(吉村)
富田茜	嗅覚—視覚モダリティ間における単純接触効果の検討	(広瀬)
富田夏実	大域・局所処理課題がストループ・逆ストループ干渉に及ぼす影響	(箱田)
中林愛采	体験の回避及びコーピングが大学生適応感に及ぼす影響の検討	(下津)
中村美由希	女子大学生における摂食障害傾向・強迫性傾向と母親の養育態度との関連について	(松浦)
縄田裕子	幼少期の食事経験が女子大学生の母子関係における精神的自立に及ぼす影響	(下津)
西紗由梨	過去の母親の養育態度と女子大学生の心理的自立について	(下津)
西祐佳	声の記憶における言語隠蔽効果とグローバル・ローカル処理	(箱田)
西岡さゆり	大学生と高齢者における SOC と自己受容および存在受容感の関係性	(吉村)
西山優花	運動中の音楽聴取が気分に与える影響 —音楽の曲調による違い	(松浦)
橋本菜那	運動習慣と遂行機能および自己制御力との関連性について	(岩原)
長谷川郁奈	快・不快度に影響するのは画像刺激か聴覚刺激か？	(箱田)
濱麻友子	女子大学生の職業意識と共同性・作動性の関係について	(松浦)
林瑞希	口コミ・POP・ブランドが購買欲と商品イメージに与える影響	(吉村)
東出文乃	商品の属性、必要度および価格が購買欲に及ぼす影響	(広瀬)
東出佳苗	音楽聴取が計算課題および気分の変化に与える影響	(吉村)
樋口杏	援助者との関係性および援助内容が被援助場面における感情体験に与える影響	(下津)
樋口みさ	対人距離と社会的プレッシャーが課題遂行量に及ぼす影響	(広瀬)
藤澤葵	対人距離判断と利き手、利き目、性、性格特性との関係	(広瀬)
富士原涼帆	女子大学生における日常生活と Twitter 上でのふるまい方に自己愛的脆弱性が及ぼす影響	(吉村)
前川千咲	能動的・受動的 SNS 疲れが無気力感に与える影響について	(稲塚)
前田祐貴子	自己没入傾向が視覚的注意の定位に及ぼす影響	(箱田)
孫田美音	大学生における生きがい感およびソーシャルサポートと抑うつ傾向の関連について	(岩原)
松田千佳	ヒールの好みと自己愛傾向の関連	(松浦)
水野菜摘	共感性、コミュニケーション能力および向社会的行動の関連	(吉村)
宮壽紗南	制御焦点がパフォーマンスに及ぼす影響	(広瀬)
村山有花	日常的コミュニケーションが恋愛関係に及ぼす影響	(稲塚)
山内香奈	接近回避志向におよぼす特性としての制御焦点と状態としての制御焦点	(広瀬)
山下友貴美	親の養育態度が女子大学生の独立意識および情動的共感性に与える影響について	(片岡)
湯次杏実	気晴らし方略が問題解決に及ぼす影響 —大学生の就職活動ストレス場面における検討—	(広瀬)
吉田まき	青年期女性における親の養育スタイルとアイデンティティ形成・自尊感情の関連について	(稲塚)
川村美緒	幼児の「将来なれるものの判断」と時間認識	(片岡)
立溝三裕	子どもの頃の大人の関わりが大学生の社会的比較に与える影響について —大人の関わりを受容次元からとらえて—	(松浦)

音楽教育学専攻

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
板倉実優	W.A. モーツァルト《ドン・ジョヴァンニ》より〈ぶってよ、マゼット〉〈いとしい人、その痛み〉	(田中)
岩田優香	ミュージカル《The Phantom of the Opera》(オペラ座の怪人)より 〈Think of me〉, 〈Wishing you were somehow here again〉に関する考察	(ガハブカ)
浮田さおり	〈In uomini Insoldati〉(男たちに、兵士たちに), 〈Una donna a quindici anni〉(女も15になれば)について	(ガハブカ)
大内穂乃香	映像の中の効果音 —笠松広司の作る音から考える—	(田崎)
太田穂花	プロコフィエフ《ピアノ・ソナタ第8番》Op. 84に関する一考察 —戦争ソナタの比較を通して—	(大谷)
大西真由	自作曲《星散る夜》について	(佐藤)
小田麻央	金管八重奏のための《はじまりの環》について	(佐藤)
柊木優香	久石譲作曲《Da・Ma・Shi・絵》—リズムにおけるミニマル・ミュージック—	(田崎)
河上香織	浄土真宗の日曜学校における仏教讃歌のあり方 —京都女子大学及び龍谷大学の宗教教育部の活動に焦点を当てて—	(荒川)
北野裕子	ドビュッシー《前奏曲第1集》より〈音と香りは夕暮れの大きに漂う〉〈アナカプリの丘〉〈西風の見たもの〉に関する一考察	(大谷)
久能佳歩	オペラ《ラ・ボエーム》より アリア〈わたしの名はミミ〉〈あなたの愛の呼ぶ声に〉の演奏表現について	(田中)
黒田由美	ドビュッシー《映像第1集》より〈水の反映〉〈運動〉に関する一考察 —運指を中心に—	(大谷)
五島真衣	ニコライ・メトネル《忘れられた調べ第2集》より〈悲劇的ソナタ〉Op. 39-5 についての一考察	(土居)
齊藤笑七	A. グラズノフ作曲《ピアノ・ソナタ第1番変ロ短調》Op. 74より第一楽章に関する一考察	(大谷)
鹿田結和	Henri Dutilleux 《ピアノソナタ》より第3楽章〈コラルと変奏〉に関する一考察	(土居)
杉野彩夏	《明日の僕へ》について —DTMと環境音を用いた作曲の試み—	(佐藤)
清家遥香	聴き手に伝わる歌い方 ～フランスの音楽を用いて～	(ガハブカ)
妹尾佳南	ポッテシーニによるコントラバスの可能性の追究 ～《コントラバス協奏曲第2番ロ短調》の考察を中心に～	(荒川)
曾我美里	ショパン《舟歌》Op. 60 演奏表現に関する一考察	(土居)
田中希望	言葉のアクセントに着目した表現方法の一考察 —別宮貞雄作曲〈さくら横ちょう〉, 木下牧子作曲〈竹とんぼに〉, アルフレード・カタラーニ作曲オペラ《La Wally》(ワリー)より〈Ebben? Ne andrò lontana〉(さようなら、ふるさとの家よ)の3曲を例に	(ガハブカ)
種池茜音	F. ショパン《スケルツォ 第4番 ホ長調》Op. 54に関する一考察 ～ペダリングの可能性を探る～	(土居)
坪之内綾華	モーリス・ラヴェル《鏡》の演奏の変遷 ～バルルミュテールを中心に～	(大谷)
傳美幸	「主体的・対話的で深い学び」を伴う合唱指導を通じた学級経営について	(荒川)
中山愛	山田耕柁《この道》《電話》《からたちの花》	(田中)

発達教育学部紀要

古川 愛華	「ヒットの法則」と J-pop —ヒット楽曲（2017-18年）にみる音楽的特徴，歌詞，演出の観点より—	(田崎)
堀田 眞希	オペレッタ《こうもり》より〈田舎娘を演じるときは〉，イタリア歌曲集第 I 集より 1 番〈どんなに小さなものでも〉の歌唱法について	(ガハブカ)
松田 紗季	ベッリーニ《カプレーティ家とモンテッキ家》より〈ああ，幾度か〉	(田中)
宮田 結	V.ベッリーニ オペラ《I Puritani》(清教徒)より〈Qui la voce sua soave〉(あなたの優しい声が)の歌唱法について	(田中)
向井 沙季子	自作品 朗読と音楽《こだま》について ～アイルランド音楽の要素を踏まえて～	(佐藤)
毛利 真悠子	中学生のリズム感向上のための指導法 —歌唱のリズム指導の提案—	(関口)
森 美里	中学校音楽科の歌唱領域における ICT の活用	(関口)
森 近ひびき	《La Favorita》(ラ・ファヴォリータ)より〈O mio Fernando〉(いとしいフェルナンドよ)について	(ガハブカ)
山岡 未奈	ベッリーニ作曲《夢遊病の女》より〈ああ，信じられない〉について	(ガハブカ)
山田 咲穂	M.ラヴェル《鏡》の標題に関する一考察 ～第 1 曲〈夜蛾〉，第 3 曲〈洋上の小舟〉を中心に～	(土居)
山戸 萌瑛	自作曲《Anna Karenina》について	(佐藤)
横山 莉音	ゲーム音楽の創造 ～画面と音楽の融合を目指して～	(佐藤)
角倉 真由	《神秘なる森》について	(佐藤)
和田 藍里	メシアンの音楽語法と作品の関連性 —《前奏曲集》(1929)を題材に—	(大谷)
上森 友里加	幼児教育現場で歌われている子どもの歌について ～アンケート調査による考察～	(荒川)
常俊 玲奈	モンテッソーリ教育における音楽的特徴 —J.ダルクローズとの関係に着目して—	(関口)

令和元年度

発達教育学部児童学科 卒業論文・制作題目

学生氏名	卒業論文・題目	所属ゼミ
赤井 瞳	子どもの表現遊びに関する一考察 —M幼稚園の実践から—	(岡林)
赤川 美樹	人気絵本の魅力	(松崎)
有山 花琳	子どもといのちを考える —5歳児の年間指導計画—	(黒田)
碓本 ななみ	「映画もののけ姫における人間と自然の関係について」	(黒田)
生田 琴美	保育現場におけるプレパレーションの実態と認識 —保育学生・現役保育者へのアンケートから—	(倉本)
板谷 咲良	障害者に対する顕在的態度・潜在的態度の関係と影響因 —IATによる測定から—	(倉本)
伊藤 香苗	散切物狂言『勸善懲惡孝子誉』にみる親孝行	(松崎)
伊藤 瑞紀	USJのストリートショーはなぜ楽しめるのか ～ダンスと音楽の関係性に着目して～	(岡林)
稲田 梨乃	女子大学生における体型認識とダイエット行動および食行動との関連性	(間瀬)
岩垂 沙也加	子どもの生活習慣が運動能力に及ぼす影響	(森)
上山 純聖	絵本に登場するおおかみのキャラクターの変遷に関する研究 —ダイバーシティの広がりとの関連から—	(松崎)
大坂 菜々子	胎教に関する一考察 —音楽的側面に注目して—	(岡林)
大橋 紀香	音楽隊「はにーハミング」の活動に関する一考察 —アウトリーチによる子どものための演奏会の試み—	(神原)
大橋 若奈	長期にわたって使われる地産地消の積み木「たがったんごっとな」	(矢野)
大屋 茉永	女子学生における冷え症と体組成との関連性	(間瀬)
小笠原 雅	幼児期における遊び経験と学童期以降の運動に対する意識の関係性の検討	(森)
奥保 奈穂	女子大学生における食事バランスと身体活動量の関係	(新矢)
尾関 千香子	多様なかわり方ができる楽器玩具「ペクタンポロン」	(矢野)
小田 千尋	絵本紹介 Web サイトの視覚的仕様に関する一考察 —就学前の子どもを育てる保護者の使用の視点から—	(松崎)
小幡 茉希	幼児における体脂肪率と生活習慣との関連性	(間瀬)
帯谷 美緒	いのちの繋がりに気づき自分や他者を大切にできる絵本の研究「いちばんはだあれ」	(黒田)
梶 麻亜子	気になるこどもの就学支援について	(倉本)
門川 紗帆	両親からの被評価経験及び叱られ方が女子大学生の自尊感情に与える影響 —親の養育態度、親子の信頼感、子どもの生まれ月を含む包括的検討—	(古池)
川崎 麻未	子どもの生活習慣と運動能力の関係	(森)
川本 果澄	保育学生が親子支援に関わることの意義：保護者への質問紙調査を中心に	(瀬々倉)
神田 菜月	音と感触を楽しむ布絵本制作	(岡林)
蒲原 凜々	不適切な親子関係に対する保育学生の認識：絵本を用いたグループインタビュー	(瀬々倉)
木田 菜月	幼児と関わることによる保育学生の感情の変化：特に否定的感情に着目して	(瀬々倉)
黒木 花南	女子学生における運動の継続および中断が体組成に及ぼす影響	(間瀬)
小園 素子	ストレッチおよびトレーニングが肩の筋硬度、柔軟性および筋力に及ぼす影響	(新矢)
小山 菜摘	短期間プログラムにおける未就園児の仲間関係の発展	(瀬々倉)

佐竹 ののか	同一絵本の読み聞かせを繰り返すことの意義：読み手の学生と子どもとの関係に着目して	(瀬々倉)
佐竹 陽南子	保育者にとってのまことの保育	(黒田)
佐藤 結	冷えと体格及び体温の日内変動の関係	(新矢)
志野 菜摘	思いやりを育む保育 ―虫の飼育を通して―	(黒田)
清水 美帆	保育所における構造化支援の実態 ―構造化の種類と対象に着目して―	(倉本)
新海 風花	木育への理解を深める絵本「きみのこどもに会う日には」	(矢野)
砂口 萌	女子学生におけるやせ願望と食行動との関連性 ―低体重者および普通体重者との比較より―	(間瀬)
高嶋 亜衣佳	描画活動における保育者の言葉かけ ―一人一人の子どものイメージを引き出すために―	(瓜生)
滝波 愛莉	地域資源を生かした保育の意義と今後の展望 ―福井市の認定こども園における地域資源を生かした保育の実態調査から―	(松崎)
瀧本 彩花	家庭及び保育・教育現場での動物飼育経験が青年期女子のパーソナリティに与える影響	(古池)
田中 朝花	“見える”保育記録の有用性 ―子どもと大人が「写真」の中に見出すもの―	(今田)
田中 志歩	女子学生における骨格筋量の獲得に影響を及ぼす要因の検討	(間瀬)
田中 和	アニメ映画にみる音響の効果 ―『アナと雪の女王』の分析を通して―	(岡林)
田村 優奈	進路選択・変更と職業興味との関係について ―京都女子大学児童学科学生の職業興味の実態から―	(倉本)
田村 里帆	ままごと遊びと収納が融合した段ボール家具「家具ごと ままごと くままごと」	(矢野)
俵積田 柚花	児童期の被評価経験が青年期の自尊感情および運動有能感に及ぼす影響	(森)
大同 美苗	音楽経験が音楽的意識に及ぼす影響	(神原)
津村 映李	自然や消費への意識を育む木の親子服「キテシル」	(矢野)
出原 希望	園生活における音楽の役割に関する研究 ―保育学生の体験に基づく調査を基に―	(神原)
豊藏 侑未	片付けを促進するBOXの制作 「らびっといほす」	(矢野)
豊田 桃加	4年制大学2年生における初めての保育所実習ストレスに関する考察 ―特に責任実習を経験することによるストレス及び自信・就業意識・学修意欲への影響に着目して―	(上月)
中嶋 未来	子どもの自発的な音楽表現活動における音の共有について	(岡林)
中瀬 利佳	保育者希望学生がなぜ一般就職の道を選ぶのか ―本学科4年生のアンケート調査から―	(瓜生)
長井 明香	視覚触覚から木の良さへの理解を深める木製玩具「ほうせ木ばこ」	(矢野)
西川 星	女子大学生における体型認識とダイエット行動および食行動との関連性	(間瀬)
西川 夏美	乳児向け月刊絵本の特徴と存在意義 ―「こどものとも0.1.2.」4カ年の作品分析を通じて―	(今田)
西田 早希	グリーフケア ―流産や死産を経験した母親へ―	(黒田)
西村 夕	児童文学作品における魔女の存在意義	(今田)
二宮 桃子	保育における子どもの歌の多様性	(岡林)
野口 朝香	幼児の楽器遊びの実態と保育者、職員の楽器遊びに対する意識 ―幼稚園と療育施設への聞き取り調査をもとに―	(倉本)
葉影 尚子	加古里子の子どもたちに願う「かしこさ」とは	(黒田)
伴野 朱香	キンダー・カウンセリング事業の利用状況と今後の課題 ―京都府の私立幼稚園に対するアンケート調査から―	(倉本)

卒業論文題目

伴野 広香	デジタル絵本の現状と活用の可能性	(今田)
日置 明奈	林明子作品にみられる絵本的表現と写実的表現の共存 —絵本『こんとあき』の作品分析—	(今田)
疋田 優香	幼児教育におけるワークショップの可能性 —絵本作家えがしらみちこと子どもたちの出会い—	(今田)
日野 茜	絵本の素材に着目した研究 —『そらまめくんこんにちは』の布絵本制作を通じて—	(今田)
平塚 理真	本学科の保育学生のアイデンティティ達成やキャリア意識などの特徴 —学年や保育職希望の有無での比較から—	(瓜生)
蛭間 壽々子	女子学生における身体活動と体格および体組成との関連性	(間瀬)
深田 実里	七五三が行われ続ける理由は何か —社会の変化に注目して—	(黒田)
福島 春佳	グリム童話における「王子」について	(松崎)
福田 芽依	子どもの発達に合わせた知的能力を育む玩具「ガッチャン！ピタボン」	(矢野)
藤井 華葉	乳幼児における熱中症発生の特徴と予防対策	(新矢)
堀 更紗	玩具のフェジー性と子どもの遊びについての研究：遊びの展開と保育学生の関わり の分析	(瀬々倉)
堀 知紗希	保育士と幼稚園教諭による吃音児のサポートの実態	(倉本)
堀 真由香	音楽隊「はにーハミング」の活動に関する一考察 —アウトリーチによる子どものための演奏会の試み—	(神原)
堀江 真由	絵本を題材としたリズムアンサンブルの創作	(神原)
眞岡 沙帆	乳幼児のスマホ使用に関する保護者の抵抗感・期待が子のスマホ使用に与える影響	(古池)
枅井 志帆	幼児における絵本の読み聞かせの意義に関する親の認識・読み聞かせ行動の要因 —親の就労状況、理想の子ども像、きょうだい数、子の年齢の検討—	(古池)
益池 あかね	さとうわきこの絵本が愛される理由 —「女性像」「物語展開」「語り」の視点—	(今田)
松井 美聖	性的マイノリティが抱える問題とニーズ —LGBTQ 当事者へのインタビュー及びアンケートによる検討—	(古池)
松崎 彩	食育方法や生活環境が子どもの好き嫌いに及ぼす影響	(森)
松本 愛理	親子支援における保護者の「対話の場」の意義：フォーカスグループ・インタビューの分析を中心に	(瀬々倉)
松本 奈穂	大学生の生活状況が食生活に与える影響 —居住形態、ダイエット、生活時間、アルバイト、経済状況、食意識の検討—	(古池)
丸塚 祥代	USJのストリートショーはなぜ楽しめるのか ～ダンスと音楽の関係性に着目して～	(岡林)
三浦 香奈	幼児は木でどのように遊ぶのか ～森のようちえんでの観察調査から考える～	(上月)
水川 有梨香	音楽紙芝居「うさぎくんのゆうびんやさん」の制作	(岡林)
溝部 あゆ美	女子大学生における基礎体温および基礎体温変動と月経前症状の関係	(新矢)
満山 彩織	映画『千と千尋の神隠し』における自立とは	(松崎)
南 祐花	絵本に描かれ始めた多様な家族の姿	(今田)
宮本 真由	保育所における連絡帳活用の意義と課題 —提供された一児の連絡帳分析などから—	(瓜生)
宮脇 瑞希	幼児における体脂肪率と生活習慣との関連性	(間瀬)
森下 夏帆	ままごと遊びの援助 —子どもの想像力を育むために—	(黒田)
森田 依露	絵本『タンスのひみつ』の音楽制作	(神原)
森田 陽子	運動嫌いの要因に関する一考察	(森)
森光 紗椰	表現活動におけるオノマトペの活用の可能性 —幼稚園と小学校での実践から—	(岡林)

発達教育学部紀要

山崎阿恭	保育者及び保育者志望学生における絵本の読み聞かせに関する意識 —保育経験年数の影響の検討—	(古池)
山崎瑠菜	母親の被養育経験、褒められ経験・叱られ経験、自尊感情と育児ストレスとの関連	(古池)
山崎広奈	NHK『みんなのうた』に見られる特徴と魅力	(神原)
山下純玲	保育現場でのデジタルメディア活用	(上月)
山田桃花	幼児の鍵盤ハーモニカ指導について	(神原)
山本佳菜	女子学生におけるやせ願望と食行動との関連性 —低体重者および普通体重者との比較より—	(間瀬)
山本真奈美	幼児の日常の運動頻度と運動能力および運動器機能の関係	(新矢)
油谷知尋	子どもの思考力を育む木製玩具「もくもくキューブ」	(矢野)
吉村優希	ディズニーアニメーション『塔の上のラプンツェル』（2010）の個性はいかにして作られたか —グリム童話「ラプンツェル」との比較研究—	(今田)
樂香菜子	女子大学生における足裏の形態と体バランス、筋肉量および運動経験との関係	(新矢)
若林茜吏	幼児における骨格筋量と生活習慣との関連性	(間瀬)

注) このリストは令和元年12月20日に提出された卒業論文・制作題目に基づいて作成しています。

〈投稿規定〉

平成16年4月1日 制定
最近改正 令和元年5月29日

- 第1条 本誌は、京都女子大学発達教育学部の研究活動、及びそれに関連する情報を発表することを目的とし、年一回発行する。
- 第2条 本誌は、本学部の諸領域に関する研究論文、研究報告、評論、書評、及び発達教育学部の教育研究活動に関する情報、その他（以下、論文等という）を掲載する。
- 第3条 論文等の掲載は、教育学科教育学専攻、養護・福祉教育学専攻、音楽教育学専攻、児童学科、心理学科の順に行う。
- 第4条 本誌への投稿資格は次の通りとする。
- (1) 京都女子大学発達教育学部専任教員。
 - (2) 上記専任教員を論文の共著者とした研究分担者。
 - (3) その他、編集委員会が特に認めた者。
- 第5条 執筆者は、論文等の原稿提出に先立って、同一もしくは関連領域を専門とする研究者の校閲を経ることとする。
- 第6条 論文等を本誌に掲載するにあたり、執筆者は他者の著作権等を尊重しなければならない。そのために必要な手続きは、執筆者が自ら行うこととする。
- 第7条 投稿された論文等の採否は、編集委員会によって決定する。
- 第8条 執筆者に抜き刷り30部を贈呈する。それを超える部数は実費負担とする。
- 第9条 本誌に掲載された論文等は、原則として全文又はその一部を電子化し、京都女子大学学術情報リポジトリサーバ或いはその他のコンピューターネットワーク上で公開する。
- 2 執筆者は、本誌に掲載された論文等の著作権のうち、複製権及び公衆送信権を京都女子大学に許諾する。但しこれらの許諾は取り消すことができる。

附則

この規定は、平成26年2月18日教授会後、学部所属教員の下承済み。

附則

この規定は、令和2年4月1日から施行する。

編 集 委 員

委員長 荒川恵子

委 員 稲塚葉子 岩崎保之 瀬々倉玉奈 玉村公二彦

(五十音順)

京都女子大学

発達教育学部紀要 第 16 号

令和 2 年 2 月 5 日 印刷

令和 2 年 2 月 10 日 発行

編 集 京都女子大学発達教育学部紀要編集委員会

発 行 京都女子大学発達教育学部

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地

印 刷 株式会社 図書印刷 同 朋 舎

